メルトタワー21に搬入されるごみ質分別調査結果について

1　調査目的　　ごみ分別の徹底による施設の効率的な運転及び設備故障原因排除

2　調査年月日　平成24年10月25日（木）

3　調査時間　　午後1時30分～午後3時10分

4　対象車輌　　事業系可燃ごみ・家庭系可燃ごみ

5　調査台数　　事業系及び家庭系可燃ごみ
　　室蘭市2台 ・ 伊達市1台 ・ 壮瞥町2台 ・豊浦町1台　計　6台

6　調査員及び　広域連合　　2名
　作業従事者　西胆振環境（調査2名・作業従事者6名）　計　10名

7　立会者　　住民監視委員会　7人、関係市町担当者　4名　計　11名
　　報道関係　室蘭民報、北海道新聞　計　2名

8　注意すべき　別紙のとおり
　内容、写真

9　総体的評価　　調査したすべての車輌から、可燃ごみの中に不燃として出すべきゴミが混じっていた。フライパン、大型のおもちゃ、掃除機、電気コード、ガラスびんなど。

　また、熱分解ドラムで問題となる木材（太さ3cm、長さ50cm、幅20cm超えるもの）については、まだ「不燃ごみ」との浸透はしていないようで、6台中3台から発見された。さらに資源物となる古紙や空き缶、PETボトルの混入が見られた。

　処理不適物となる鉄塊などは発見されなかった。危険物となるガス抜きされていないカセットガスボンベが見つかった。

　その他に事業系のごみから導尿パックが見つかった。老人ホームのもの(運転手)ということだが、事業活動に伴う廃プラスチックで産業廃棄物になるため受入れできないもの、今後とも調査指導を継続する必要がある。

ごみ質分別調査の実施状況（平成24年10月25日）

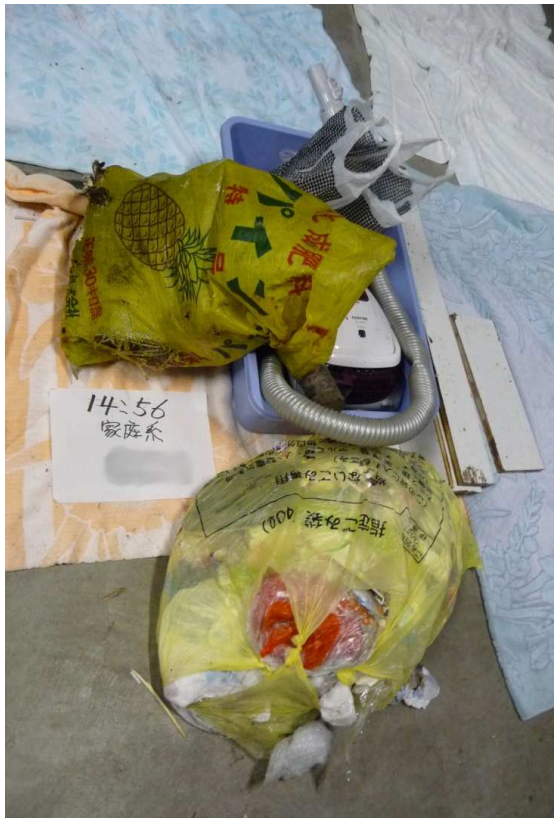
50cmを超えるモール（建具材）、板は不燃扱い

フライパン、カセットガスボンベは不燃扱い、さらにガスを抜いていない危険物

50cmを越える大型おもちゃ、電気コードは不燃扱い

産業廃棄物（事業系の廃プラスチック）

古紙や PET ボトル、空き缶は資源物での回収となる



掃除機や太い枝は不燃扱い、可燃収集時に不燃のゴミ袋を使用